



インターネットでの情報提供	
提供予定日	9月18日(木)

平成26年9月17日(水) 県政記者クラブ配布資料		
担当機関	担当者	電話番号
中山間農業研究所	中津川支所	長谷川・神尾
農政課	農業研究推進係	石垣・宮崎
		0573-68-2036 (直通) 058-272-8415 (内線) 2805

岐阜県オリジナルのクリ新品種 「えな宝来」、「えな宝月」が誕生

中山間農業研究所中津川支所では、菓子加工業者や生産者からの強い要望を受け、「栗きんとん」の加工に適したクリ品種「えな宝来」と「えな宝月」を開発し、平成26年8月28日に農林水産省から品種登録出願公表(※)を受けましたので、お知らせします。

1 「えな宝来」について

1) 育成経過

平成13年に極早生品種「^{ごくわせ}胞衣」と早生品種「^{たんざわ}丹沢」を人工交配し育成。
平成23年に現地での生育適応や加工の適正調査が終了

2) 特徴

- ・8月下旬から収穫できるため、9月上旬の「栗きんとん」発売に向けた出荷が可能
- ・果肉の色が黄色くホクホクとした食感で、「栗きんとん」の加工に最適

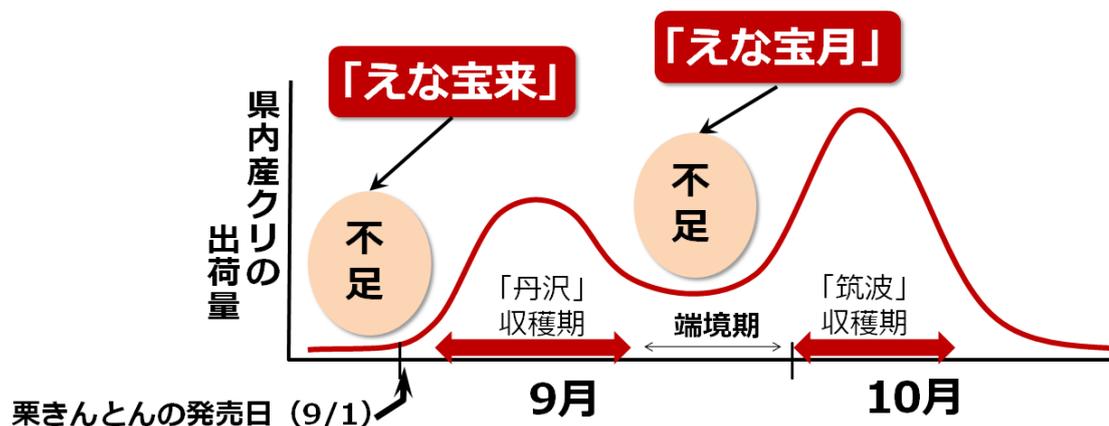
2 「えな宝月」について

1) 育成経過

平成9年に早生品種「丹沢」と中生品種「^{つくば}筑波」を自然交配し育成
平成24年に現地での生育適応や加工の適正調査が終了

2) 特徴

- ・県の主力品種である「丹沢」と「筑波」の出荷時期の間に収穫できる早生品種
- ・濃い黄色の果肉は甘味が多く、ホクホクとしており、「栗きんとん」の加工に最適



3 今後の予定

- ・本年12月から、県内のクリ生産協議会へ苗木を供給する予定。
- ・今後5年間で東濃地域を中心に7ha、将来的には県下で25haの普及を見込んでいる。

※品種登録の手順について

- 農林水産省へ品種登録出願を行った後、約3～5ヶ月後に農林水産省より官報にて出願品種の内容について公表される（品種登録出願公表）。
- 出願内容が公表されることで、広く一般に認知されるが、同時に出願品種と見分けがつかない品種が市場に出回る等、権利を侵害されることも考えられる。そのため、出願公表がなされた品種は登録までの間、権利が保護され、権利が侵害された場合、損害賠償を請求することができる（権利の仮保護）。
- 出願公表後、2～3年の間に審査を受け、登録がなされれば、登録日から25年（樹木は30年）の間、権利化することができる。

